

# 復習シート 第一学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

模範解答

レベル 8～10

【同訓異字を正しく答える問題】  
1 次の——部を漢字で書きましょう。

同訓異字は、訓読みは同じですが、異なる漢字のことです。  
文章をよく理解し、その前後の言葉によって漢字を使い分けましょう。

(1) はやい

あの投手の投げる球は**はやい**。  
出発するには**まだは**やい。

早	速
---	---

(2) やぶれる

大きな紙が**やぶれる**。  
大事な勝負に**やぶれる**。

敗	破
---	---

(3) おさめる

努力により成功を**おさめる**。  
正しく税金を**おさめる**。  
王様が国を**おさめる**。  
学問を**おさめる**。

修	治	納	収
---	---	---	---

(4) つとめる

新しい会社につ**とめる**。  
劇の主役をつ**とめる**。  
問題の解決につ**とめる**。

努	務	勤
---	---	---

【同音異義語を正しく答える問題】  
2 次の——部を漢字で書きましょう。

レベル 6～8

同音異義語は、発音は同じですが、意味の異なる語です。  
文章をよく理解し、その前後の言葉によって漢字を使い分けましょう。

(1) いがい

関係者**いがい**立ち入り禁止。  
物語の**いがい**な結末。

意外	以外
----	----

(2) かいじょう

大会が**かいじょう**に着く。  
市場が**かいじょう**する。

開場	会場
----	----

(3) たいしょう

点**たいしょう**な凶形をかく。  
**たいしょう**的な性格の兄弟。  
小学生を**たいしょう**にした本。

対象	対照	对称
----	----	----

(4) えいせい

人工**えいせい**を打ち上げる。  
**えいせい**面に注意する。

衛生	衛星
----	----

# 復習シート 第一学年 国語

埼玉県学力・学習状況調査



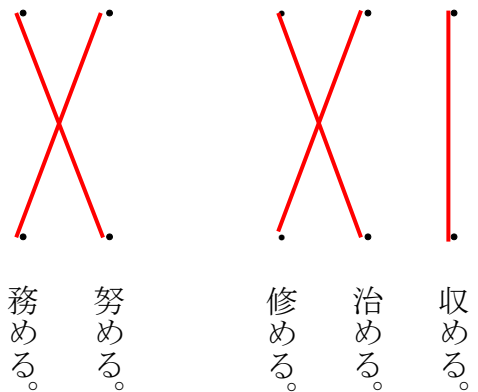
コトソン

組	番号	名前
<b>模範解答</b>		

【文脈に即し、適切な同訓異字を選択する問題】

- 1 上の言葉と下の言葉を正しくつないで、文を完成させましょう。  
 レベル8～10

- 【おさめる】
- ① 運動会の様子をビデオに ●
  - ② 大学で専門的な学問を ●
  - ③ 王様が広大な国を ●
- 〔つとめる〕
- ① 野球部のキャプテンを ●
  - ② 問題の解決に ●



【収める】  
 中に入れる。記録をする。  
 自分のものにする。

【治める】  
 混乱した状態を落ち着いた状態にする。

【修める】  
 学問などを身につける。

【努める】  
 力をつくして行う。

【務める】  
 任務や役割などを行う。  
 同じ読みで異なる漢字が他にもあります。  
 調べてみましょう。

【文中の主語に当たるものを選択する問題】

- 2 次の文中の \_\_\_\_\_ 線部を述語としたとき、主語はどれに当たりますか。  
 主語を、ア～オの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。  
 レベル8～10

① 妹が ア 落とした イ かぎを ウ 父が エ 道ばたで オ 拾った。

① **エ**

② ぼくが ア おこづかいで イ 買った ウ 自転車は エ きれいな オ 緑色だ。

② **ア**

③ 母が ア 作った イ シチューは ウ 友達が エ おどろくほど オ おいしい。

③ **ウ**

主語は、「だれは（が）（も）」「何は（が）（も）」を表す言葉です。述語は、「どうする」「どんなだ」「なんだ」などを表す言葉です。主語と述語だけをつなげて短い文になるかを確認したり、二つの文に分けてそれぞれの主語や述語を考えたりしましょう。

【敬語の種類を理解し、適切に書く問題】

レベル6～8

3 次の \_\_\_\_\_ 線部の言葉を ( ) \_\_\_\_\_ の中の敬語に直し、 \_\_\_\_\_ に書きましょう。

① ぼくは \_\_\_\_\_ 一年生だ。(ていねい語)

①

一年生です

ていねい語は、聞き手や読み手に対する敬意を表す言葉です。「です」「ます」「ございます」などがあります。

② 地域の方が \_\_\_\_\_ 帰る。(尊敬語)

②

お帰りになる  
帰られる

尊敬語は、相手や話題が上がっている人に対する敬意を表す言葉です。「お(ご)〜になる」「〜れる(られる)」などの言い方があります。

③ 校長先生は \_\_\_\_\_ 職員室に \_\_\_\_\_ いる。(尊敬語)

③

いらっしゃる

尊敬語やけんじよう語には、特別な言葉を使った言い方があります。他にどのような言い方があるが、調べてみましょう。

④ お客様から \_\_\_\_\_ おみやげを \_\_\_\_\_ もらう。(けんじよう語)

④

いただく

けんじよう語は、自分や身内の者の動作をけんそんなで言うことで、その動作を受ける人への敬意を表す言葉です。「お(ご)〜する」という言い方もあります。

【慣用句やことわざの意味を理解し、正しいものを選ぶ問題】

レベル6・7

4 次の文の \_\_\_\_\_ に入る言葉を、ア～エから選び、丸を付けましょう。

① 王様の言葉に村人たちは \_\_\_\_\_ を打たれた。

【むねを打つ】  
強く感動させる。

ア 頭      イ かた      ウ 胸      エ 足

② 社長の \_\_\_\_\_ の一声で 話合いが 終わった。

【つるの一声】  
多くの人の意見やそれまでの議論をおさえつけるほどの力のある人の一言。

ア つる      イ おに      ウ 天      エ りゆう

【接続語の働きを理解し、適切なものを選択する問題】

レベル4・5

5 次の文の \_\_\_\_\_ に入る言葉を、ア～エから選び、丸を付けましょう。

給食で、カレーライスが出た。 \_\_\_\_\_ 、夕飯もカレーライスだった。

ア そのうえ      イ したがって      ウ あるいは      エ ただし

つなぎ言葉をそれぞれ当てはめて、文を読んでみましょう。